



ひとつになった歌声とオーケストラの演奏が重なり響く

歓喜の歌声が響く

はじめての第九

12月27日、市民会館で「はじめての第九」が開催されました。

合唱団こぶや市内の中学校・高校の生徒、市民コーラスグループ、くらしき作陽大学・作陽音楽短期

大学合唱団など総勢約200人で結成された合唱団の歌声と、くらしき作陽管弦楽団約80人の音色が、会場に響き渡りました。

曲目は、ベートーベンの交響曲第9番「合唱」とシベリウスの交響詩「フィンランディア」。満席となった会場内は、しなやかで力強い歌声と演奏に包まれ、観客は盛大な拍手を送っていました。

●ミニフォト

朝焼けに新年の願いを



山頂からご来光を眺める

元旦の早朝、福山登山が行われ、約1000人が登頂。振る舞われた甘酒で温まり、東の空が白んでいく様子を見つめていました。初日の出に合わせて万歳三唱を唱え、記念品の絵馬を手にとり、新しい年の到来を祝っていました。

大人の自覚を胸に



開式の言葉を述べる実行委員

成人記念式が1月10日、市民会館で行われ、681人が成人として第一歩を踏み出しました。式では、恩師のビデオレターが上映され、成長を振り返り、成人の日を迎えたことを感謝し決意を新たにしていました。

希望の歌声を響かせる



心を込めて丁寧に歌う

12月20日、総社ジュニアコーラスの定期演奏会が、山手公民館で開催されました。「表参道高校合唱部」と題した企画ステージの披露や、総社から生まれた童話などをピアノ伴奏とともにハーモニーを奏でていました。

片岡さん 100歳おめでとう



家族に祝福される片岡さん

片岡静江さん（秦）が1月10日に満100歳の誕生日を迎えられ、12日に市から記念品が贈られました。手先が器用で手芸や小物作りが趣味であったという片岡さん。長寿の秘訣は、好き嫌いせず食べることだそうです。

木山さん 100歳おめでとう



市長に祝福される木山さん

木山貞恵さん（溝口）が1月1日に満100歳の誕生日を迎えられ、12日に市から記念品が贈られました。家庭菜園や庭の花の手入れが趣味であったという木山さん。長寿の秘訣は、好き嫌いせず食べることだそうです。

県医師会会長から特別表彰



表彰された高杉こどもクリニックの高杉さん

昨年開催されたおかやまマラソンで、ドクターランナーとして救命活動にあたった高杉尚志さん（吉備医師会）が、県医師会会長特別賞を授与されました。救急車到着までの間、心肺停止のランナーに蘇生処置を行いました。

夜の静寂に光輝く

備中国分寺五重塔ライトアップ

備中国分寺五重塔をライトアップする点灯式が、12月25日に行われました。冬の夜空に光を放ち、吉備路のシンボルとして五重塔が幻想的に照らされています。午後6時から10時の間、2月28日(日)まで楽しむことができます。

また、12月31日から1月1日にかけての年越しを、特別にライトアップ。厳かに新年を迎えました。



夜空に浮かび上がる備中国分寺五重塔



こたつの座席から音楽を楽しむ

こたつ100個ライブ・ミニこたつライブ



こたつに入りライブを観覧する(写真上)。ミニこたつライブの会場で行われたゲーム(写真左)

12月19日、市役所駐車場で「こたつ100個ライブ」が、総合福祉センターで「ちびっこミニこたつライブ」が開催されました。歩行者天国になった市役所前の通りには夜店が並び、友人や家族連れら約800人が来場。来場者はイルミネーションの演出と響き渡る歌声や音楽をこたつで暖をとりながら和やかに楽しんでいました。

総社市10年のあゆみを回顧



『広報そうじゃ』を第1号から展示

1月15日、総社吉備路文化館で「広報紙でふりかえる総社10年のあゆみ」の展示が始まりました(3月6日まで開催)。来場者は広報紙や写真パネルの展示などから、当時の出来事や時代の流れを懐かしく振り返っていました。

リニューアル記念コンサート



玄関ホールに管楽器の音が響く

12月15日、市役所正面玄関のリニューアルを記念したコンサートが開かれました。くらしき作陽大学の学生が、サクソフォン四重奏を披露。光あふれる開放感のある空間に、艶やかで深みをもった音色が響いていました。

収穫を祝う伝統行事



慎重に一升の餅を運ぶ小学生

12月25日、本庄・新庄国司神社で赤米の収穫を祝う行事が行われ、新庄国司神社では「かけりもち」が行われました。フクラシの木にくぐられた餅を担ぎ、神社を出発。御神田跡に木を納め、餅を抱え神社まで競っていました。